

▼ 題字 ▼
なかつ
は、私が書きました。



やました きらら
山下 希楽々 さん
【津民小5年】

学びたい教育のまち なかつ

山国中学校 (山国町守実)

山国中学校は、生徒40人職員14人の小規模校ですが、学習や運動、地域活動に頑張っています。特に目標としている合い言葉があります。それは「AKB40」「A」挨拶、「K」気配り、「B」勉強を40人全員で実践しようということです。学校生活はもちろん、家庭や地域でも主体的にAKBをすることで、故郷山国や他の地域で自信をもって活躍できる人に育ててほしいと願っています。

また、伝統の川柳教室や花植活動、体育大会や合唱祭などの学校行事では、多才で人材豊富な地域のみなさんのお力添えが、子どもたちの成長を支えています。さらに、三郷小学校と相互の授業参観や合同研修会、児童会・生徒会の交流行事を通し、9年間を見通した教育目標の共有化を図っています。教員同士が気軽に対話できる関係づくりにもつながり、小中連携を深めています。



人口と世帯

(2月26日現在) (前月比)

総人口	84,339 人	(-13)
男	40,615 人	(-6)
女	43,724 人	(-7)
世帯数	39,515 世帯	(+50)

中津市の情報発信中!

3月30日(土)です!
次回の放送は



■放送日
奇数月の最終土曜日
9時30分～9時45分
◎中津市テレビ広報番組
「ゆるっと中津」
(OAB大分朝日放送)



【収録風景 (1月放送分)】

インバウンド



最近、「インバウンド (INBOUND)」という言葉をよく聞きます。インは「中に」、バウンドは「・・・に向かう」、合わせて「中に向かう」という意味です。旅行業界では外国から日本にやってくる観光のことを指します。

外国から日本への観光客がすごいスピードで増えています。平成30年は3000万人を超え、この5年間で約3倍に増えました。国内の人口減少が進む中、観光・消費市場が国外客に期待する向きは強く、今年のラグビーワールドカップ、来年の東京オリンピック・パラリンピック開催がさらに多くの外国人を我が国に迎えることとなります。

中津市でも外国人観光客を見かけるようになりました。観光バスでの団体に加え、小グループや家族旅行など旅行形態もいろいろです。大分県への外国人客は韓国が約6割、次いで台湾、香港、中国の順でそれぞれ約1割です。これは、航空便の利便性、交流の多寡、地域の認知度、旅行業者のコース設定などが影響しているのでしょう。となると、多くの人に来てもらうためには、訪問客が中津の魅力をもっと知る、中津を気に入る、中津を旅行のコースに入れることが大事です。

そこで大切なのが受け入れ態勢です。一つに言葉が通じる「ミニコミュニケーション」。二つに「キャッシュレス」、現金を持ち歩かなくてもカードやスマホで支払いができること。そして三つに最も大切なのが「おもてなしの心」。これらの点は我々も工夫をした取り組みがまだまだ必要です。

国際便を持つ福岡、北九州、大分の3つの空港を利用できる中津。自然景観、歴史・文化、そして流行のサイクリングやウォーキングの体験などどれもとって魅力ある中津。「なかつバウンド」のお客さんを一人でも多く迎えるため、官民連携し力を合わせて知恵を絞りましょう。



中津を楽しむ外国の人たち

「市報なかつ」がアプリで読める!



ダウンロードはこちらから →



※市報が毎月スマートフォンに届きます。気になる情報をスクラップ & シェアできるので便利です。

自然保護のためこの市報は古紙再生紙を使用しています